

2023年5月31日

各位

マネックスグループ株式会社  
代表執行役社長 CEO 松本 大  
(コード番号 8698 東証プライム)

## 当社連結子会社 Coincheck Group B.V. の Thunder Bridge Capital Partners IV, Inc. との De-SPAC による ナスダック上場の進捗に関するお知らせ

マネックスグループ株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長 CEO 松本大、以下「当社」）の連結子会社でコインチェック株式会社（以下「コインチェック」）の持株会社となる予定の Coincheck Group B.V.（以下「CCG」）は、米国の Nasdaq Global Market（以下「NASDAQ」）に上場している特別買収目的会社（SPAC）である Thunder Bridge Capital Partners IV, Inc.（以下「THCP」）との合併（以下「本合併」）による NASDAQ 上場に向けた手続きを、THCP と協力しつつ鋭意進めております。

当初の想定よりも米国証券取引委員会（以下「SEC」）の登録審査プロセスが長期化していることを受け、THCP は、同社定款上の買収を実現するための期限である 2023 年 7 月 2 日を一年延長すること等を議案（以下「延長議案」）とする株主総会の招集通知を、米国時間の 5 月 31 日に発表しました（株主総会は米国時間の 2023 年 6 月 21 日に開催予定です）。

上記を受け、本合併に関して 2022 年 3 月 22 日付で締結している Business Combination Agreement（以下「本合併契約書」）について、THCP 株主総会での延長議案承認を条件に、本合併を実現する期限を一年延長する等の変更契約を契約当事者間で締結しました。

当社は、THCP との協業により CCG が NASDAQ に上場することで、グローバルな投資家へのエクスポージャーを獲得することができることと共に、今後グローバルな人材採用や企業買収を行う上でも採用通貨・買収通貨として世界的に有効な NASDAQ 上場株を活用することができ、暗号資産事業の更なる拡大を目指すことが可能になるため、NASDAQ 上場に向けた取り組みを継続してまいります。

当社の代表執行役社長 CEO の松本大は次のように述べています。

「THCP の Gary Simanson およびそのチームと 1 年以上協力してきましたが、これからも CCG は引き続き THCP との合併を目指し、米国資本市場へのアクセスを得るために尽力いたします。日本の暗号資産交換業者であるコインチェックが、親会社となる CCG と THCP の合併を通じて NASDAQ への上場を目指すことは、これまで以上に重要になってきています。この戦略の実現に向けた努力を継続することに対する当社のコミットメントを明らかにするため、今般、本合併を推進する期限を 12 カ月延長いたしました。我々は、Gary Simanson および彼のチームと協力し、この合併を成功させ、CCG が NASDAQ 上場企業となることを楽しみにしています。」

THCP の President & CEO の Gary Simanson は次のように述べています。

「CCG との合併プロセスが進む中で、松本氏や彼のチームとの強い協力関係を築くことができました。プロフェッショナルであること、物事を正しく行うこと、短期的な管理を慎重に行うと同時に物事を長期的に構築し管理することに対する真摯な姿勢は彼らの特質であり、それは私たちが最初に両社の合併に対し前向きな評価をくださったときからはっきりしていました。そして、

この16ヶ月の間に松本氏と彼のチームの行った行動は、昨年、我々が最初にデューデリジェンスを行ったときの、彼らが優れたビジネスパートナーであるという見解と所見を強く再確認させるものでした。

業界全体にとってとても不確実で不安定であったこの1年間にコインチェックが安定したビジネスパフォーマンスを出してきたことは、この期間を通して松本氏と彼のチームが着実に事業運営してきたことをよく表しており、合併後の会社の将来と我々の前途にある事業機会について希望を感じさせるものです。この期間、松本氏と私は幾度となく、日本の暗号資産交換業者であるコインチェックは、現在の業界の混乱の中から事業機会を見出すうえで優位にあると話してきました。また、透明性が高く、当局の規制下で事業展開を行い、かつ上場している企業が持っている可能性は、当初合併を想定したときよりも、今日、さらに大きくなっていると信じています。

我々は、この合併の実現に向けて引き続きコミットいたします。また、松本氏と彼のチームが、我々と同様に合併を目指し、上場後も両社のリソースを合わせて一層大きなグローバル企業を構築することに引き続きコミットしてくれていることに本当に感謝しています。」

以 上

## 本合併にかかる追加情報とその入手方法

本合併にかかる追加情報については、SEC に提出された THCP の 2022 年 3 月 22 日付 Form 8-K 臨時報告書をご参照ください。本合併に関連し当事者らは、CCG の Form F-4 登録届出書（THCP のプロキシ・ステートメント及び目論見書を含みます。）を含む関連書類を SEC に提出し、また、その他の本合併に関連する書類を SEC に提出する予定です。THCP 株主及びその他の利害関係者におかれましては、CCG、コインチェック、THCP 及び本合併に関する重要な情報が記載された、本合併に関連して提出されるプロキシ・ステートメント及び目論見書の暫定版及び改訂版、プロキシ・ステートメントの最終版並びにそれらに参照により組み込まれる書類が入手可能となった際には、それらを一読することが推奨されます。THCP は、本合併並びにプロキシ・ステートメント及び目論見書に記載されたその他の提案の承認につき議決権を行使することができる各株主に対し、SEC による Form F-4 の効力発生の宣言後速やかに、プロキシ・ステートメント及び目論見書の最終版並びにプロキシ・カードを発送する予定です。THCP への投資家及び THCP の株主におかれましては、本合併に関する重要な情報を含む、登録届出書及びプロキシ・ステートメント及び目論見書の全文、SEC に提出されたその他の関連書類、並びにそれらの改訂版又は補足版が入手可能となった際には、それらを議決権行使又は投資判断の前に注意深く読むことが推奨されます。なお、THCP が SEC に提出した書類は、SEC のウェブサイト（[www.sec.gov](http://www.sec.gov)）にて閲覧するか又は Thunder Bridge Capital Partners IV, Inc.（住所：9912 Georgetown Pike, Suite D203, Great Falls, Virginia 22066、宛先：Secretary, (202) 431-0507）に直接請求することにより無償で入手することも可能です。

## 勧誘行為の参加者

THCP 並びにその取締役及び役員は、本合併に係る THCP 株主による議決権行使に対する勧誘行為の参加者と見做される場合があります。当該取締役及び役員の氏名のリスト並びに THCP における利害関係に関する説明は、本合併に関するプロキシ・ステートメント及び目論見書に（それらが入手可能となった場合）含まれ、それらは SEC のウェブサイト（[www.sec.gov](http://www.sec.gov)）にて閲覧できます。THCP の取締役及び役員並びにそれらの者の THCP 普通株式保有に関する情報は、2021 年 6 月 29 日付目論見書（当該提出日後に SEC に提出された Form 3 又は Form 4 による訂正又は補足を含みます。）に記載されます。議決権行使に対する勧誘行為の参加者の利害関係に関するその他の情報は、本合併に関するプロキシ・ステートメント及び目論見書に（それらが入手可能となった場合）含まれます。当該書類については、上記情報源から無償で入手することが可能です。

CCG、コインチェック、THCP 並びにそれらの各取締役及び役員は、さらに、本合併に係る THCP 株主による議決権行使に対する勧誘行為の参加者と見做される場合があります。当該取締役及び役員の氏名のリスト並びに本合併に関する利害関係に関する説明は、本合併に関するプロキシ・ステートメント及び目論見書に含まれます。

## 将来の見通しに関する記述

本プレスリリースには、1995 年私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）における「将来の見通しに関する記述」が含まれます。将来の見通しに関する記述には、将来の事業、製品及びサービスに関する将来の財務及び事業の業績、計画、目標、見通し及び意図、並びに「可能性が高い」、「予測される」、「継続する」、「予期される」、「見積もられる」、「信じる」、「計画する」、「展望」、「見通し」等の表現若しくはその他の類似表現により特定される記述が含まれますが、これらに限られません。これらの将来の見通しに関する記述には、コインチェックの事業及び市場の規模、CCG、コインチェック及び THCP の将来の機会、コインチェックの将来の業績の予測並びに THCP とコインチェックとの間の本合併（黙示的な企業価値、企図される取引及び所有構造、並びに企図される取引の完了についての蓋然性、時期及び当事者の能力を含みます。）が含まれますが、これらに限られません。かかる将来の見通しに関する記述は、当社経営陣の現時点での考え及び推測に基づくものであり、その多くは予測が難しく当社による支配がおよそ及ばない、事業、経済及び競争に関する不確実性及び偶発性に大きく影響されます。実際の業績及び出来事の時期は、将来の見通しに関する記述における予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。

SEC に提出された THCP の届出書において開示された要因、及び本プレスリリースにおいて特定された要因に加え、とりわけ次の要因によって、実際の業績及び出来事の時期は将来の見通しに関する記述における予測とは大きく異なるものとなる可能性があります：本合併契約書の解除事由となる事象、変化又はその他出来事の発生を含む、本合併のクロージングに係る前提条件の不充足；THCP 株主の承認取得の不達成、THCP 株主の償還後における最低現金額の不達成、上限を超える償還、又は企図された取引の完了に関連して NASDAQ の上場基準を満たさなくなったことにより、本合併契約書が企図する取引を完了できなくなること；本合併契約書が企図する取引に関連する費用；本合併契約書が企図する取引の期待利益の実現の遅延又は不達成；企図される取引により経営陣の事業経営が中断されることに関連するリスク；競争環境、技術革新又は規制の変化を含む、コインチェックが競争を行う仮想通貨及びデジタル・アセット市場の変化；国内外の経済状況全般の変化；コインチェックが成長戦略（買収の特定及び実施を含みます。）を実施できないリスク；コインチェックが効果的な内部統制を構築し維持できないリスク；THCP の新規株式公開に関連する 2021 年 6 月 29 日付最終版目論見書及び本合併に関連するプロキシ・ステートメント及び目論見書（それらの書類の「リスク要因」の記載を含みます。）並びに THCP のその他の SEC 提出書類に記載されたその他のリスク及び不確実性。CCG、THCP 及びコインチェックは、上記の要因が網羅的なものでないことを注意喚起致します。

実際の結果、業績又は成果は、あらゆる予測、将来の見通しに関する記述、及びかかる将来の見通しに関する記述が依拠する想定とは大きく（可能性として不利益に）異なるものとなる可能性があります。本プレスリリースに含まれる情報が将来の業績を反映している保証はいかなる程度においてもありません。予測された財務及びその他の情報は、その多くが当社の支配の及ばない、様々な重大なリスク、不確実性及びその他の要因の影響を受ける推定および仮定に本質的に基づいていることから、将来の見通しに関する記述について、将来の業績の予測として過度に依拠しないようご留意願います。本プレスリリースに記載された全ての情報は、THCP 及びコインチェックに関する情報の場合は本日現在、THCP 又はコインチェック以外の者による情報の場合はかかる情報の日付におけるものであり、当社は、本プレスリリースの日付より後に生じた出来事に基づいて将来の見通しに関する記述を更新する意図又は義務を有するものではありません。コインチェックの事業及びエンド・マーケットに関する予測及び推定は、当社が信頼できると考える情報源に基づくものですが、かかる予測及び推定が全体として又は部分的に正しいことを保証するもので

はありません。年換算値、試算値、予測値及び推定値は、例示目的でのみ使用されており、予定を記載したのではなく、実際の結果を反映していない場合があります。

#### 申込み又は勧誘の不存在

本プレスリリースは、いかなる有価証券又は本合併に関しても、委任状、同意、又は承認の勧誘を構成するものではありません。また、本プレスリリースは、いかなる有価証券の販売の申込み又は購入の申込みの勧誘も構成するものではなく、また、登録前の又は該当法域において適格となる前の申込み、勧誘又は販売が当該法域の証券法に基づき違法となる州又は法域において、いかなる有価証券の販売も行うものではありません。有価証券の募集は、1933年証券法（Securities Act of 1933）第10条（その改正を含みます。）の要件を満たす目論見書による場合、又はそれが免除される場合を除き、これを行わないものとします。

（報道関係者様のお問い合わせ先）

マネックスグループ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 加藤 電話 03-4323-8698

（株主様・投資家様のお問い合わせ先）

マネックスグループ株式会社 経営管理部 IR担当 仲野、小森 電話 03-4323-8698